


教材紹介

<p>【タイトル】 道徳教材ドラマ 聲の形</p>	
<p>【教科・領域】 道徳</p>	
<p>【バーコード番号】 1 0 1 8 7 8</p>	
<p>【保管棚番号】 K27D01</p>	
<p>【内容の概略】</p> <p>原作の「聲の形」は現代の子どものリアルな表情を描きつつ、「いじめ」や「障がい者との共生」などの難しいテーマを、読者が自然と考えることができる優れた物語であり、人権意識を常に高く持っていないと、周囲の人間を傷つける可能性があることを教えてくれます。本作品は、原作の物語を基本に、教材としてのテーマを付加したドラマ形式の学習教材です。</p> <p>・ 視聴時間 30分 ・ 学習指導案、学習ワークシートつき</p> <p>【授業を行ってみて】</p> <p>・ 人権同和教育で「障がい者とのかかわり」を学習してきた生徒たちが「障がい者へのいじめ」を題材とした本作品のビデオを視聴した。ビデオを視聴しているときに、生徒は「うわ～ひどい」「いじめは許せない」「どうして理解してあげられないんだろう」「周りの子たちもひどい」など、思い思いのこを感じ、つぶやいていた。障がいのある方とのかかわりを見つめ直すことができる作品でした。</p> <p>【感想・児童の声】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ DVD を見ていろんなことを考えました。自分のいるクラスに耳に障がいをもった人が転入してきたらどう接するだろうか。どうしていじめになってしまったのか、もしも自分が同じ立場だったら、このDVD のようにはなりたくないと思いました。 ・ DVD を見て、これまで何回も何回も改めてがんばろうと思ったけれど、今回はとくに絶対にいじめをしたくないと思ったし、している人がもしいればしないようにがんばって注意をしていきたいと思いました。 ・ 私は人とは少しちがう特徴をもっているだけで勝手にいじめられるのは不公平だと思いました。いくらいい子ぶっても障がい者を見下したり、差別してしまう人間の良くない部分がわかりやすく描かれている映画だと思ったし、人間って怖いなと思いました。 ・ いじめや差別は、相手をいやな気持ちにさせたあと、自分までいやな気持ちになるんだから、絶対にしないと決意しました。マイナスな言葉ではなく、プラスな言葉をたくさん使って楽しくて気持ちの良い生活をしたいです。 	

